

◆離島活性化交付金等事業計画のうち令和7年度に実施するもの

都道府県名	対象指定地域数: 1 地域	沖島(沖島)
滋賀県	対象離島数: 1 島	

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
沖島	沖島	近江八幡市	5年 (R5~R9)	<p>目標1: 安心して暮らし続けられる沖島 医療福祉サービスの充実や、日常生活を支える移動手段の確保など、超高齢化社会に対応し得る体制整備を進める。 更に、多様なライフスタイルに対応できるハード・ソフト両面でのインフラ整備を進め、誰もが生きがいを持ちつつ、安心して最期まで暮らし続けることのできる沖島を実現していく。</p> <p>目標2: 琵琶湖の恵みとともに持続可能な沖島 持続可能な沖島の実現に向けては、基幹産業である漁業を魅力ある産業として復興させ、受け継いでいく若い漁業者の確保・育成を進めていくとともに、その担い手となり得る人材としての移住者の受け入れ態勢の整備や、その土壌づくりとしての関係人口の創出に向けた取組を進めていく。</p> <p>上記目標達成のために以下の項目を中心的に実施する。</p> <p>(1) 誰もが訪れやすく、住みやすい沖島(湖上交通・島内外交通) ● 航路の維持・利便性の向上を図り、人口流出の抑制と、島へのUJターンや定住を促進する。 ● 島外交通を充実させ、観光需要に対応できる交通体系の整備を進める。 ● 島内移動の望ましい姿、自然環境にも配慮した沖島らしい移動手段について検討し、必要な対策に取り組む。</p> <p>(2) 琵琶湖の恵みとともに、島ならではの産業を育む沖島(産業) ● 琵琶湖漁業の中心的な役割を果たす重要拠点として漁業の振興を図る。 ● 琵琶湖を内側から見渡すという沖島独自の魅力を活かし、体験、滞在型観光の産業化による振興を図る。</p> <p>(3) 安心していつまでも暮らし続けることができる沖島(福祉・医療) ● 誰もが安心して暮らせる沖島をめざし、地域医療体制・介護サービスなどの充実を図る。 ● 健康でいきいきと暮らし続けられるように、予防医療を促進する。</p> <p>(4) 島民だけでなく、みんなの力で発展する沖島(移住・関係人口) ● 関係人口の創出を進め、島の取組を多くの人に協力・応援してもらえる体制づくりを行う。 ● 沖島に関わってもらおうことを通して沖島の魅力を体感し、将来的に島民として沖島の発展に寄与できる人材を育成する。</p>	E	<p>医療の確保</p> <p>① 診療所の診療体制の充実 ② 沖島診療所の継続運営 ③ 高度情報通信基盤を活用した遠隔医療の確立と医薬品の配送システムの確立 ④ 救急搬送体制の充実化 ⑤ 島民への健康相談、疾病予防等の推進 ⑥ 予防医療(歯科等)の充実</p>	医師、看護師の派遣費用等、沖島診療所の運営に要する費用を補助する。
					H	<p>観光の開発</p> <p>① 対岸の宿泊施設と連携した観光施策への支援 ② 島内の観光ルートの整備・居住空間とのすみわけ支援 ③ 空き家など既存資源を活用した産業振興 ④ 恵まれた自然を活かした地域間交流の実施 ⑤ (島外交通)観光ルートを結ぶためのバス交通などの整備検討 ⑥ ビワイテと連携した観光振興支援</p> <p>地域間交流の促進</p> <p>① 情報発信ツールの充実化 ② 観光情報誌などの多言語対応の促進 ③ 離島留学等の検討</p>	滋賀県の離島指定地域である沖島において、短期間での離島留学者を誘致することで、将来的な移住者や関係人口を創出し、第2期滋賀県離島振興計画の目標である「令和14年度における人口200名の維持」また「持続可能な沖島」の達成を目指す。